

私立短期大学図書館協議会

会報

発行者：安部 登巳
 発行所：私立短期大学図書館協議会
 〒228 相模原市文京2-1-1
 相模女子大学短期大学部図書館内
 電話：0427-42-1411

Bulletin of Junior College Library Association

1995. 3 No. 36

◇ 平成6年度短期大学図書館全国研修会開催 ◇

参考業務と書誌 — 音楽：音楽情報の4W1H 地名・地誌：日本と外国 をテーマに講義と演習

日 時 平成6年11月24日(木)～25日(金)
 会 場 日販本社議室(新お茶の水ビル)
 テーマ 参考業務と書誌
 講 師 松下 鈞氏(国立音楽大学附属図書館)
 北原紈彦氏(日外アソシエーツ㈱)
 参 加 75名
 主 催 私立短期大学図書館協議会

第1日目、安部会長の開催挨拶とオリエンテーションの後、講義に入った。講義内容は松下鈞氏の「音楽図書館の時代」、「音楽情報の4W1H—基本事例の調査と参考図書を使い方」、北原氏の「地名・地誌—日本と外国」で要旨は下記のとおり。なお、各講義の詳しい内容は「短期大学図書館研究第15号」に掲載される。2日目、参加者は10グループに分かれ、会場に用意された各種の書誌を使って、与えられた課題を解決していく実践的な演習を行った。最後に、グループごとに解答を発表し、講師の先生方からの評価、指導を受けた。

又、1日目の5時より日販本社3階食堂にて懇親会が開かれ、講師の先生方や知り合ったばかりの仲間となごやかに歓談した。

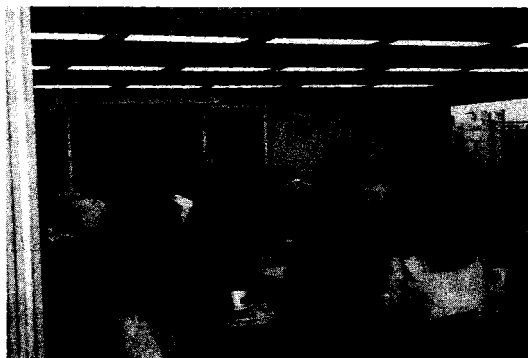
◇ 音楽図書館の時代

松下 鈞氏

はじめに：日本音楽の研究者 James Siddons が求める音楽資料は、我々の考えている「音楽図書館」の領域を遙かに越えて、神社やお寺の文庫など、様々な資料

集積所にあり、それらの施設を「Music Research Libraries」として世界に紹介している。

1. 音楽資料の種類：録音資料、視聴覚資料、楽譜、電子資料、専門書や専門雑誌、マイクロ資料、又楽器そのものなど様々な資料がある。
2. 音楽資料(楽譜の種類)：ベートーベンの「第九」には自筆譜、スコア、パート譜、合唱のみの譜、ピアノ版など様々なタイプの楽譜がある。
3. 音楽資料の特殊性：音楽資料は大変多様である。
4. 資料音楽(図書、楽譜、AV資料)の流通ルート：出版社から購入者へは、書店や楽器店以外にも宗教機関や音楽教室、コンビニなど様々なルートがある。
5. 音楽資料の選定ツール(国内出版物を中心として)：「Academia News」「CDジャーナル」等の音楽雑誌や出版社のカタログなどのツールがある。
6. 録音資料の出版状況：国によって主流の録音資料が異なる。日本では現在CDが主流であるが、各国のレコー



ド売り上げを見ると、CDは世界的現象ではない。

7. 音楽資料の整理とアクセス：国際的に音楽図書館では統一標題をつけている。

8. 音楽資料の利用：著作権の問題について、図書館は利用者の立場に立って働きかけなければならない。

9. 音楽資料の保存：音楽文化財を後世に残そうとする文化財としての意識が日本人にはない。

◇地名・地誌—日本と外国

北原 罔彦 氏

1. 地名の種類と地名・地誌情報の内容：地名には現行行政地名の他に、歴史地名、自然地名などがある。又、表記と発音、所在や由来、規模などが地名地誌情報の主な内容であり、利用者が質問してくるのもこのあたりである。

2. 検索面から見た地名の特徴：日本語の地名は漢字の読み方が分からないと引けない。同表記のものや、熟字訓的な読み方をするもの、その地方の人しか読めないような難しい漢字を使用するもの、当て字のようなものなどがある。外国語の地名は片仮名表記が分からないと日

本の事典で調べるのは難しい。中国地名は漢字を日本語音読みで引ける場合が多いが、韓国地名の漢字の読み方は日本語とは全く異なる。

3. 補助ツールの役割：補助ツールとしては「地名よみかた辞典」「河川名よみかた辞典」などがある。

4. 地名・地誌関係ツールの解説

◇音楽情報の4W1H

—基本事例の調査と参考図書の使い方—

松下 罔氏

1. はじめに：「音楽」情報とはなにか？

2. 音楽情報の形態と次元：楽譜、録音資料など。

3. 図書館における音楽情報サービス

4. 音楽のレファレンス資料の種類と特徴：様々な資料の中で、図鑑は楽器の形を説明したりするために非常に重要な資料である。又、有名な作曲家には作品目録があり、作品に番号がついている。

5. 調査結果の提供：誰に、何を、どのような形態で提供するのか、質問者の状況はどうかなど、様々な利用者に応じたレファレンスをするべきである。

全国研修会参加者アンケート結果

実施日時 11月25日

回答枚数 59枚（参加者数74名 回収率79.7%）

1. 図書館経験年数（回答数 53名）

- 1) 1年未満 3名、2) 1～3年 13名、3) 4～5年 9名
4) 6～10年 12名、5) 11～15年 12名、6) 16年以上 4名

2. 今回の参加費（回答数 59名）

公費 58名、私費 1名

3. 図書館の参加回数（回答数 52名）

- 1) 毎回 9館、2) 5～7回 6館、3) 3～4回 21館
4) 2回 10館、5) 初めて 6館

4. テーマについて（感想 39名）

- 1) よかった・参考になった・興味深い 26名
2) 普段はあまりレファレンスを受けない「音楽」だが参考になった 5名
3) 日常業務で扱いに困る非活字資料を取り上げてもらい参考になった
4) 緊急性がない
5) 地方で悩んでいる図書館にはほど遠いものだった

5. 講義について（感想 38名）

- 1) よかった・参考になった・楽しかった 20名
2) 話は面白いが午後がつらい 4名

3) 実践に裏打ちされた話なので具体性がある

4) 資料の種類・保存・検索などの実例が役立つ

5) 基本的・初歩的なものを教えてほしい ほか

6. 講師について（感想 36名）

- 1) よかった・わかりやすい・好感もてた 23名
2) 音楽の方がよかった 5名
3) 解説が適切 2名
4) それぞれの専門分野の第一人者から指導を受けてよかった

5) 説得力がある ほか

7. 演習について（感想 47名）

- 1) 時間が足りない 17名
2) 参考書・書誌の数が足りない 7名
3) 補助ツールとして百科事典や国語辞典がほしい
4) 自館にない参考図書にふれてよかった 2名
5) 音楽関係の参考図書の使い方に手間取った

6) 問題は難しいが面白い

（3ページに続く）

地区活動報告 — 第35号以後 —

〈北海道地区〉

・平成6年度研修会

日時：平成6年8月29日（月）・30日（火）

会場：北海道女子短期大学

出席者：13館29名

講演 坂本龍三氏（北海道武蔵女子短期大学教授）

「北海道における司書養成の現状と課題」

事例発表：

1. 甲斐陽輔氏

「札幌学院大学図書館の地域公開について」

2. 木村修一氏

「釧路短期大学図書館における利用者教育」

3. 宮川淳子氏

「北星学園大学図書館における利用者教育」

情報交換：佐々木純子氏（札幌大谷短期大学図書館）

の司会で、各館の現状報告と今回の研修会のテーマである図書館の地域公開及び利用者教育についての対応等、情報の交換を行った。

見学：札幌学院大学図書館、北海道立図書館、北海道開拓記念館の館種の異なる館を見学。

・大学・短大・専門図書館相互協力懇話会について

北海道内の大学・短大・専門図書館等における実務者間での懇談の場を設け、館種を越えた相互協力を推進するために、体制の整備をはかることを目的として、各協議会の代表者が検討を重ねてきたが、平成6年10月に名称を当初の相互協力委員会から相互協力懇話会に改称して運営要領を作成した。これに基づき各協議会の委員も新たに選出され、平成7年度から具体的な活動を開始することになった。

〈東北地区〉

・平成6年度総会・研修会

日時：平成6年10月7日（金） 12：30～17：30

会場：聖霊女子短期大学会議室

出席者：12館15名

未加盟館よりオブザーバーとして3館4名

〈総会〉 13：00～14：00

議題1. 新規加盟3館の

青森大学・青森短期大学附属図書館（青森）

麻生東北短期大学図書館（岩手）

アレン短期大学図書館（岩手）

2. 平成5年度報告

3. 平成6年度活動方針、予算

4. 東北地区規約の一部改正

第5条3項、「監事」を「監査」に改めることを提案し、承認された。

〈研修会〉 14：00～16：00

テーマ：短期図書館がかかえる問題点とその対策

助言者：秋田大学附属図書館専門員 戸嶋勇氏

加盟館から出された下記のような問題につき、各館の現状と対応について、戸嶋氏のアドバイスを交えながら話しあった。

①視聴覚資料のサービスと著作権

②資料の収集方針

③寄贈図書取り扱い

④製本雑誌取り扱い

⑤資料廃棄の基準

⑥クーラー設置の状況

〈見学会〉 16：30～17：30

（2ページより続く）

7) 時間的に2日間とせず1日でよい ほか

8. その他（感想 38名）

1) よかった・参考になった・楽しかった 6名

2) 参加者との交流もできてよかった 4名

3) 継続してほしい 2名

4) 費用が高い

5) レファレンスブックが選書の参考になる ほか

9. 今後の研修会に望むこと（テーマについて）

（意見 36名）

1) コンピュータ・CD-ROM・ネットワーク 5名

2) 食品栄養学、教育学・心理学関係、幼児教育・社会福祉 名4名

3) 伝統・民俗・芸能、文学（日本・外国）、家政学、女性学“女性問題” 各3名

4) 国文学、英米文学、看護・保健関係、視聴覚資料 各2名

5) 2日間の研修ならテーマひとつに対し、1日のように分けて欲しい。または1研修1テーマにして、関心のあるものだけの参加を募った方がよい

ほか

（研修担当：平塚悦子）

秋田市立中央図書館「明德館」

キャプテンサービスを利用した図書検索、予約システムについて

〈懇親会〉 18:00~20:00

東北地区は広く、どこで会を持っても交通の便はかならずしも良くはない。それにもかかわらず多くの参加者を得た。未加盟館のオブザーバー参加もあり会は大いに盛りあがった。しかも今年は久しぶりの新規加盟館(3館)を得て明るい展望が開けた。

〈関東甲信越地区〉

平成6年

9月29日(木) 第4回幹事会(目白学園総合図書館)

議題: 1. 合宿研修会実施打合わせについて
2. その他

10月16日(日)

合宿研修会準備の為、幹事前泊

10月17日(月)~18(火) 合宿研修会(長野県長野市郵便貯金会館メルパルクにて)

1. 基調講義 テーマ:資料の3極化現象を考える
講義者:会長 毛利和弘

2. 事例報告とディスカッション

テーマ:将来展望から日常業務のあり方を考える。

報告

- 1) 視聴覚資料の処理(立教女学院 篠原)
- 2) 電子出版の処理(亜細亜大 河野、熊谷)
- 3) 学術情報センターへの参加と義務
(女子聖学院 市来)

3. 自由討議(1)

4. 懇親会 18:00~19:30

5. 自由討議(2) 20:00~

(18日)

教養研修 9:00~14:00

参加者:33名(内、宿泊者32名)

10月21日(金) 地区名簿発行

12月20日(火) 地区会報19号発行

新規加盟館 宇都宮短期大学図書館

〈東海・北陸地区〉

1. 平成6年度第3回幹事会

日時:平成6年7月29日(金) 11:30~15:30

場所:北陸学院短期大学

出席者:8館14名

議題:(1)平成6年度総大会総括

(2)平成6年度研修会実施要項について

(3)研修・会報委員会

(4)その他

2. 平成6年度交流会

日時:平成6年10月13日(木) 18:00~20:00

場所:魚処てらき新館(金沢市野町1-1-1)

出席者:20館30名 研修会の前日に行なった。

3. 平成6年度研修会

日時:平成6年10月14日(金) 10:00~15:15

場所:北陸学院短期大学

出席者:34館47名

テーマ:利用教育

(1) 開会

会長挨拶:北陸学院短期大学図書館長 星野命氏

(2) 事例発表および質疑応答

演題:「金沢大学附属図書館中央館における利用者教育の実践と問題点」

報告者:金沢大学附属図書館 橋洋平氏

演題:「ちょっとやってみた『利用教育』」

報告者:四日市大学短期大学部図書館 岡崎黎子氏

演題:「富山女子短期大学付属図書館の利用教育について」

報告者:富山女子短期大学付属図書館 井黒陽子氏

(3) フリートーク

テーマ:「利用教育をめぐって」

司会:市邨学園短期大学図書館 加藤裕子氏

(4) 閉会

会長挨拶:北陸学院短期大学図書館長 星野命氏

4. 平成6年度第4回拡大幹事会

日時:平成6年12月2日(金) 11:30~14:30

場所:北陸学院短期大学

出席者:8館14名

議題:(1)平成6年度研修会総括

(2)平成6年度会報第26号について

①版型について

②構成(案)と原稿受取状況について

③特集記事のタイトルについて

(3)平成7年度総大会について

(4)その他

〈近畿地区〉

I. 幹事会

第3回 1995年2月8日(水) 14:00~16:00

1. 6年度・7年度の研修会について

阪神大震災のため6年度第3回の研修会は中止。予定していた相互協力の研修会は繰り越すことに決めた。

2. その他

II. 研修会

第35回 1994年11月30日(水) 13:30~16:30

テーマ: インターネットってなに?

場所: 大塚OAセンター大阪

参加者: 46館61名

「インターネット入門」と題して講演の後、「これが、インターネットです!」のデモンストレーションを行う。

III. 相互協力委員会

第4回 1994年9月9日(金) 13:30~16:30

・相互協力のあり方について

加盟館に願うアンケートの内容について検討した。

第5回 1994年12月14日(水) 13:00~16:30

・相互協力のアンケートの集計結果及び研修会について

アンケートの集計結果をどのように分析し、研修会に結びつけるか。又、研修会の日程等を検討した。

〈中国・四国地区〉

○加盟館員名簿の発行。B5版、16頁(平成6年7月)

中国・四国地区加盟館(30館)相互の情報交換、連絡などに活用するために、総会、研修会の資料と一緒に手づくりで作成、全加盟館へ配布した。

○加盟図書館案内の発行。B5版、60頁(平成6年12月)

加盟館の規模や概要についてお互に知る必要がある、その資料として作成、日常業務の中での情報交換や、紹介などで活用し合うために全加盟館へ配布した。

総会や、研修会での参考資料として会場へ持参すれば各館の概要が一目で分かり、大いに役立つものと考えている。

作成にあたっては、製本のみ業者委託とし、他は手づくりであったので僅かな経費で発行することができた。

○短図中・四国協ニュースの発行

・第7号(平成6年10月20日発行)

平成6年度総会、研修会(7/18~7/19)の概要と、講演、実務研修の要旨を特集して発行した。

・第8号(平成7年2月22日発行)

平成7年度総会、研修会の開催日程と、新加盟館の紹介ほか。

○本協議会への加盟案内状を発送

地区協議会への未加入館17館へ、加盟勧誘の案内状を送り、新年度より1館(香川県明善短期大学附属図書館)加盟の回答があった。

○平成7年度総会、研修会の開催について

交通の便がよく、集り易い所を会場にと、岡山市で開催する計画をすすめている。

・期日 平成7年7月17日(月)~18日(火)泊二日

・場所 第1日 ディヴィッド・ホール(まつもとコーポレーション内)
(岡山市総図町)

第2日 吉備路文学館(『図書館雑誌』1月号
に紹介されております)

(岡山市南方)

福武教育情報図書館・国吉康雄美術館

(岡山市南方)

くわしい日程については現在検討中。

〈九州地区〉

1. 機関誌「ニューズレター」No.18(平成7年3月13日)

発行。担当館: 佐賀女子短期大学。

記事項目は次のとおり。

◇「会長館を引き受けて」

九州龍谷短期大学 館長 築山信昭

◇「平成6年度大学図書館職員講習会報告」

西南女学院大学・短期大学 伊藤佳子

◇「『私立短期大学図書館協議会全国研修会』に参加して」

東筑紫短期大学 桑原由希恵

◇「“U H I X”体験記」

鹿児島純心女子短期大学 池上章子

◇「新図書館紹介」

○西南女学院大学・短期大学館長 渡辺 仁

○麻生福岡短期大学

◇「お知らせ」

九州龍谷短期大学

◇「トビックス」

筑紫女学園大学・短期大学

2. 平成7年度総会・研修会について

期 日: 平成7年4月20日(木)

会 場: 九州厚生年金会館

当番館: 西南女学院大学・短期大学

講演会

講 師: 私立短期大学図書館協議会

会長 安部彦巳先生

テーマ: 「短期大学図書館をめぐる新しい潮流」

研修会

研究発表：熊本学園大学・短期大学 津村秀夫氏
「大学（短大）図書館と学校図書館」
—司書の供給源と利用者の供給源—

新規加盟館紹介

〈アレン短期大学図書館〉

図書館長 目黒安子

アレン短期大学はタマシ・アレン先生の宗教的事蹟として、1970年に創設された英語英文科の単科大学である。アレン先生はアメリカン・バプティスト派の宣教師として1915年来日、東北地方の宣教に生涯を捧げられた。1938年、岩手県でも殊更に辺境の地久慈を墳墓の地に定められた。この地域における先生の事業はすべて、新しい思想と新しい技術をこの地に齎すものであり、短期大学の開学はまた地域の宿願を全うするものでもあった。

本学の図書館はアレン先生を支える内外の多くの人々によって支えられている。総蔵書約四万冊のうち、二万冊を超える洋書は、岩手県のみならず、北東北地方において稀少価値を有するものである。これは本学図書館が北岩手における国際交流活動の拠点として目され、期待される所以でもある。

昨年四月改築された館には、AVコーナー、コンピューターなどが設置され、館の電算化、情報化に対処する設備拡充へ向けて、第一歩を歩みはじめています。AVコーナーは、マルチディスクプレーヤー、カセットデッキVTRなどを備え、利用者の自由な使用を歓迎しています。

先に述べた通り、本学が地域に果たす役割を考える時、図書館の一般公開は必須の責務である。現在、一部市民に対する公開を行っているが、漸時、全面公開を期して設備の整備を企画している。本年度は、本学の生涯教育プログラムに参加している約100名の市民に図書館利用

許可証を配布している。

地域に生きる大学として、地域文化の中心、地域の国際交流の拠点たり得ることを念願しつつ、図書館運営にあたっている。

〈麻生東北短期大学図書館〉

1941年に創立された本校は、幼児教育学科と生活科学科の二学科を以て構成されており、1985年に現在の校名に変更したのを機会に校舎を移転新築し、理論と実践に習熟するとともに、人間愛と社会愛に透徹した人格を涵養する人間教育を目標に掲げて、人間づくりに励んでいる。

本学図書館は、校舎（本館）の三階に設置されており、面積158平方メートル、閲覧席数34席、全開架式で、蔵書冊数は約18,000冊、雑誌等55種、その他各短大・大学等の研究紀要等がある。

図書の収集内容は、設置学科の教科に関連した図書が中心である。幼児教育学科関係では、幼児教育・児童福祉・保健・心理学・それに絵本・紙芝居や児童書、音楽関係の図書が多い。生活科学科関連では、中学校教員免許、秘書士および情報処理士資格が取得できることや、家政学といえば身近な生活から科学の最先端まで幅広い分野に関係してくるので、本学図書・雑誌類の3分の2強を占めている。

図書館の利用度を高めるには、講義・実験演習と密接に連係、ゼミや自学自習・研究の場として活用しやすいように図書情報、視聴覚教材や卒業論文、各教員の指定図書と関連図書等を整備した結果、教育成果をあげている。特に本学が力を入れている授業の一つに卒業研究（2年生必修）があり、最近では地域振興、環境科学、健康福祉、等時代の流れに敏感に反応したテーマが多いので、これら新しい分野の資料収集に努めている。



〈宇都宮短期大学附属図書館〉

こんにちは。宇都宮短期大学附属図書館です。

栃木県宇都宮市、人口43万、県庁所在地、4年制大学3つ、短大4つです。近くには、観光地“日光”、さつき用の鹿沼土、陥没事件の大谷石の産地があります。

昭和42年開学、28年目を迎えています。学生定員100名、200数十名の学生が学んでいます。音楽だけの単科で、ピアノ、声楽、教育音楽、弦管打楽器、電子オルガン等専攻があります。

図書館は、1号館3階の約3分の1（166平米）を占めていますが、広さとしては図書室。昨年来の校舎補修工事に伴い、冷暖房、ブラインド、図書館員の生活設備の改修、設置を行いました。閲覧席46。AVコーナーには、カセット、レコード、CD、ビデオの機器があります。

音楽短大であることから、資料は音楽中心。楽譜、スコア、レコード、CD、ビデオ、音楽雑誌、新聞。その他書籍をまとめて、洋書約600、和書約8,000。全資料開架としています。

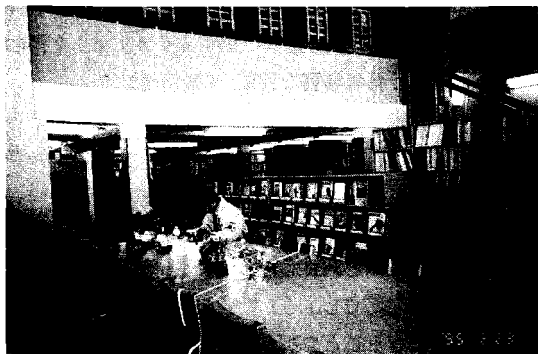
館長は、バイオリン科教授（司書資格有）。女性図書館員2名（内1名司書）。その他、教職員の協力があります。

平成2年度から“図書館予算”で運用しています。その他、今までの資料蓄積の不備を補うため、学園の協力を得て、今年度から10年間の特別予算を組みました。資料収集が増大するため、アルバイト1名の増員予定。その他に、全資料をまずパソコンに入力すべく努力を始めています。

学生利用、1日平均100名。寒い日、暑い日、試験期間中など入館者数も多く、資料利用率も高くなります。

これからの資料収集に伴い、場所も満杯になることでしょう。当短大の全体的発展を願うと共に、学生、教職員、地域、その他のための図書館として、より充実した、機能性の高い図書館が設立されることを希望しております。

皆様のご発展をお祈りしています。（館長 吉村）



本部報告

阪神大震災被災館に対し 謹んでお見舞い申し上げます

この度の阪神大震災の被害については、その深刻な状況が判るにつれて、その驚きと悲しみは深まるばかりです。図書館関係についても、徐々に被害状況が判明してきています。被災された各短大図書館及び館員の方々に、心からお見舞い申し上げます。

すでにご周知のように日本図書館協会では、その救援対策を図書館雑誌2月号で発表しています。本協議会としては、取敢えず被災地区の加盟9館に対し、お見舞とその被害状況の調査を1月25日付で行いました。現在までに6館より回答が届いています。ここにその概要を掲載いたします。なお、本協議会としての独自の救援対策は当面困難なので、日本図書館協会の救援活動に依拠するしかありませんが、被災館より何か依頼があれば対処したいと考えております。

〈各館の被害状況〉

- ①東洋食品工業短大図書館（川西市）
書架転倒、集密書架破損、図書散乱
- ②大手前女子短大図書館（伊丹市）
図書散乱、目録ケース転倒、事務室散乱、一部開館
- ③聖和大学短大部図書館（西宮市）
建物ヒビ割れ、書架転倒、図書散乱、一部開館
- ④松蔭女子学院短大図書館（神戸市灘区）
図書散乱、開館開始
- ⑤神戸山手女子短大図書館（神戸市中央区）
建物ヒビ割れ、書架転倒、図書散乱
- ⑥頌栄短大図書館（神戸市東灘区）
書架、目録ケース転倒、集密書架転倒

〈会勢〉

北海道	20	近畿	74
東北	18	中国・四国	30
関東甲信越	104	九州	36
東海・北陸	45	計	327館

〈新規加盟館〉

- ①宇都宮短期大学附属図書館
〒321-03 栃木県宇都宮市荒針町長坂 3829
☎0286-48-2331

②麻生東北短期大学図書館

〒021 岩手県一関市萩荘字竹際 49-1

☎0191-24-2211

③アレン短期大学図書館

〒028 岩手県久慈市本町 3-11

☎0194-53-5371

④青森大学・青森短期大学附属図書館

〒030 青森市幸畑 2-3-1

☎0177-38-2001

〈本部役員会〉

平成6年度第4回役員会

日時：平成6年9月14日(木) 14:00~17:00

場所：文化女子大学図書館

議題：①平成6年度全国研修会について

②会報第35号について

③「短期大学図書館研究」第15号について

第5回役員会

日時：平成6年10月31日(月) 14:00~17:20

場所：跡見学園短大図書館

議題：①平成6年度全国研修会について

②「短期大学図書館研究」第15号について

第6回役員会

日時：平成7年1月28日(土) 15:00~17:20

場所：洞元荘

議題：①平成6年度全国研修会について(反省)

②「短期大学図書館研究」第15号について

③会報第36号について

④地区特別助成金について

⑤「短期大学図書館総覧」改訂版の発行計画について

第7回役員会

日時：平成7年2月27日(月) 14:00~17:30

場所：亜細亜大学総合研究館

議題：①「短期大学図書館研究」第15号の発行について

②「短期大学図書館総覧」改訂版のアンケート調査について

③平成7年度事業計画及び運営方針について

〈本部役員人事〉

昨年5月27日に開催された平成6年度総会において、本部役員欠員の中、1名の補充については会長一任となっていたが、安部会長はこの程、高梨章氏を後任理事として推薦し、同氏は10月の役員会より出席されている。

高梨理事は現在、関東学院女子短期大学図書館の課長として勤務されているが、平成5年までは関東学院大学図書館に勤務されていた。本協議会の全国研修会の講師をお願いしたこともある。なお、役員会内部では総覧発行計画を担当して頂くことになった。

「短期大学図書館研究」第15号(1995) 内容紹介

I 特集 短期大学図書館の自己点検・評価

(1) 伊藤弘明：短大図書館における自己評価

(2) 林 幸和：短大図書館の自己点検評価の現状

—私立短大東海北陸地区図書館の場合—

(3) 川崎千咲加・小松泰信：自己評価から将来像へ

(4) 漢那憲治：短大図書館の自己評価についての試み

—沖縄キリスト教短期大学図書館のケース—

II 一般論稿

(5) 森永初代：図書館のインターネット接続の事例報告

(6) 高梨 章：人恋ふるかと(帝国図書館論)

III 全国研修会報告

(7) 松下 鈞：音楽図書館の時代

(8) 松下 鈞：音楽の4W1H—音楽情報に関するレファレンス調査—

(9) 北原彦彦：地名・地誌情報とその調べ方

(10) 全国研修会「参考業務と書誌」のテーマ・講師一覧

◇「短期大学図書館研究」総目次(第1—15号)

—本年7月発行予定—

平成7年度全国研修会のご案内

本協議会主催の平成7年度短期大学図書館全国研修会は下記により開催する予定です。詳細は未定ですが、各館の日程に入れて多数参加されるようお願いいたします。

(1) 日 時：平成7年11月16日(木)~17日(金) 10時

会 場：日販本社会議室(新お茶の水ビル)(予定)

テーマ：「参考業務と書誌」(第10回)

講 師：未定

◀ 編集後記 ▶

会報第36号をお届けいたします。今号は全国研修会のご報告を中心にまとめました。阪神地区被災館のその後の復興状況は如何でしょうか。新年度を迎えて一日も早く平常開館できることを祈ります。(吉岡)